

各 位

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門
安全研究センター長 中村 武彦

平成 30 年度安全研究センター報告会の開催について（御案内）

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

安全研究センターの研究活動につきまして、日頃より御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当センターでは、軽水炉利用に係るリスクの把握・定量化を図るため、燃料・炉から再処理・防災・環境に加えて、保障措置の範囲を含めた幅広い分野で安全研究を進めております。安全の継続的改善に着実に貢献するために常に質の高い研究を行うとともに、国立研究開発法人として研究成果の最大化を図る必要があります、その一助として、研究活動や成果を広く発信して皆様に御意見・御議論をいただくことにより、研究内容のさらなる充実を目指して参ります。本報告会は、私たちのそのような研究活動・成果を共有いただくための重要な機会ととらえております。

近年、安全研究の実施に際しては、原子力安全の視点でさまざまな現象を理解できる専門家の確保・育成が喫緊の課題であり、当センターでは、若手・中堅研究者の育成に向けた様々な取り組みを行っているところです。本報告会は、その様な当センターの人材マネジメント活動の一環として、彼ら若手・中堅研究者が企画するものです。

本年度は「ソースターム評価および核燃料物質の性状把握に関する基盤技術の開発」と題するテーマで、原子炉施設における重大事故時のソースターム評価及び燃料デブリを含む核燃料物質の臨界リスク評価や性状把握のための技術開発に関する当センターの最新の研究成果を下記のとおり御紹介いたします。また、各研究グループにおける研究内容についてもポスターセッションにて御紹介いたします。御多用な時期と存じますが、ぜひ御出席くださいますよう御案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 平成 30 年 11 月 8 日（木） 13:30～17:30
2. 開催場所 富士ソフト アキバプラザ 6 階セミナールーム 1
東京都千代田区神田練堀町 3
3. 内容 (1) 口頭発表 4 件
(2) ポスターセッション
4. 参加登録 同封の参加登録申込書により、平成 30 年 10 月 31 日(水)までに Fax 又は E-mail にてお申し込みください。
5. 連絡先 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究センター報告会事務局
担当： 扇柳、住谷
Tel: 029-282-5942/5432, Fax: 029-282-5408
E-mail: NSRC2018FY@jaea.go.jp

以上

平成 30 年度 安全研究センター報告会 プログラム
— ソースターム評価および核燃料物質の性状把握に関する基盤技術の開発 —

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門 安全研究センター

日時：平成 30 年 11 月 8 日（木） 13:30—17:30

会場：富士ソフト アキバプラザ 6 階 セミナールーム 1

13:30 開会挨拶

理事・部門長 三浦幸俊

13:35 安全研究センターの概要

副センター長 丸山結

13:50 今年度のテーマについて

シビアアクシデント評価研究グループ 城戸健太郎

14:00 ソースターム評価の不確かさ低減に向けて①
～放射性物質の化学挙動に関する予測～

シビアアクシデント評価研究グループ 塩津弘之

14:35 ソースターム評価の不確かさ低減に向けて②
～プールスクラビングに関する研究～

熱水力安全研究グループ 孫昊旻

15:10 ポスターの紹介

15:20 コーヒーブレイク & ポスターセッション（セミナールーム 4, 5）

16:10 燃料デブリの乱雑な組成・物質分布を考慮した臨界計算法の開発

臨界安全研究グループ 渡邊友章

16:45 核燃料由来のウラン微粒子性状分析法の開発と保障措置環境試料分析への応用

保障措置分析化学研究グループ 蓬田匠

17:20 閉会挨拶

センター長 中村武彦

（司会 材料・水化学研究グループ 端邦樹）

平成 30 年度安全研究センター報告会
ポスターセッション 発表タイトル 一覧

各研究グループの研究概要及び以下に示す最近の成果について御紹介いたします。

原子炉安全研究ディビジョン

熱水力安全研究グループ

- 最近の熱水力現象に関する数値解析アクティビティ

燃料安全研究グループ

- 冷却材喪失事故時の燃料被覆管急冷破断限界の不確かさ評価

材料・構造安全研究ディビジョン

構造健全性評価研究グループ

- 内部事象を考慮した原子炉構造機器の健全性評価手法の高度化
- 外部事象を考慮した原子力施設の構造健全性評価手法の高度化

材料・水化学研究グループ

- 原子炉圧力容器の加圧熱衝撃事象に対する健全性評価に関する研究

リスク評価研究ディビジョン

シビアアクシデント評価研究グループ

- シビアアクシデント評価における不確かさの低減を目指して

放射線安全・防災研究グループ

- 原子力防災対策のための放射線リスク評価の研究
- 防災業務関係者の線量評価モデルの開発

燃料サイクル安全研究ディビジョン

サイクル安全研究グループ

- 核燃料サイクル施設における火災事故研究
ーグローブボックス火災試験の計画策定及びパネル材熱分解評価試験ー

臨界安全研究グループ

- 臨界実験装置 STACY 更新の進捗状況と実験計画

保障措置分析化学研究グループ

- 保障措置環境試料中に含まれるウラン微粒子の化学状態分析手法の開発

環境安全研究ディビジョン

廃棄物安全研究グループ

- 処分場周辺におけるシリカ系二次鉱物の生成挙動

環境影響評価研究グループ

- 外生ドリフトクリギングを利用したサイト解放検認方法の検討

平成 30 年度安全研究センター報告会 会場案内図

富士ソフト アキバプラザ (ホームページより抜粋)

<https://www.fsi.co.jp/akibaplaza/map.html>

秋葉原駅から富士ソフト アキバプラザまでのアクセス



住所

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトアキバプラザ

TEL* : 050-3000-2741、FAX : 03-5209-5261

* 本報告会に関するお問い合わせは ご遠慮下さい。

秋葉原駅からの所要時間

- ・ JR 線 秋葉原駅： 中央改札口より徒歩 2 分
- ・ つくばエクスプレス線 秋葉原駅： A3 出口より徒歩 1 分
- ・ 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅： 2 番出口より徒歩 3 分

参加登録申込書

平成30年度 安全研究センター報告会
平成30年11月8日(木) 富士ソフト アキバプラザ6階セミナールーム1

送付先： 安全研究センター報告会 事務局
担当： 扇柳、住谷
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全研究センター
Tel: 029-282-5942/5432, Fax: 029-282-5408
E-mail: NSRC2018FY@jaea.go.jp

10月31日(水) までに本申込書をFaxまたはE-mailにて

上記宛にお送りください。

(下記の内容をE-mail本文に直接ご記入いただいても結構です。)

平成30年度安全研究センター報告会に参加します。

お名前： _____

ご所属

機関名称： _____

部署： _____

役職： _____

Tel： _____

Fax： _____

E-mail： _____